



株式会社ニデック 環境報告書 2010

NIDEK Environmental Report



The Art of Eye Care

環境経営責任者のメッセージ	2
ニデック環境管理推進組織図	3
企業概要	4
工場概要	5
企業行動憲章	6
環境方針	7
2010年度環境保全活動の目的・目標と設定趣旨	8
2009年度環境保全活動の目標と実績	9
工場の環境負荷概要	10-12
2009年度環境パフォーマンス	
CO2排出量 (参考: 浜町工場太陽光発電実績)	13
廃棄物量／PRTR法対象化学物質使用量	14
環境調和型製品紹介	15
エネルギー／資源消費量・廃棄物排出量の推移	
電力／重油	16
市水／最終廃棄物	17
環境／社会への取り組み	18
報告書基本情報／お問い合わせ先	19

環境経営責任者からのメッセージ

当社は、2000年12月にISO14001（環境マネジメントシステム）を取得して以来、環境に優しい事業運営を目指し、取り組みを続けてまいりました。

2007年からは環境保全に一層力をいれており、地球に優しいグリーン製品の開発を進め、有害物質の排除はもとより、廃棄時も循環型社会に貢献できる製品づくりを目指しています。また最終廃棄物の削減、再資源化に継続的に取り組んでいます。

地球温暖化防止の観点から、二酸化炭素排出量や電力量の削減するための取り組みも進めています。2009年3月には、当社最大の生産拠点である浜町工場に太陽光発電システムを導入し、工場設備の電力供給に活用しています。

今後、従業員全員の環境保全への啓発を進めるとともに、当社の活動内容を社外のステークホルダーの方々や、一般の皆様にご紹介することによって、環境保全活動が社会全体でより一層広がっていく事を願い、本年度の環境報告書を発行いたします。

本年度は次の4項目を中心に環境活動を推進していきます。

1. 製品の環境調和：医療機器のRoHS指令への対応を進めるとともに、エコ設計（環境配慮設計）に取り組めます。
2. 省エネルギー：原単位電力消費量を設定し、継続的な省エネを推進します。
3. 廃棄物削減・省資源：最終廃棄物を削減し、再資源化率の向上を目指します。
4. 環境社会貢献：社内への啓発、地域社会との協調に努め、新たな社会貢献活動に取り組めます。

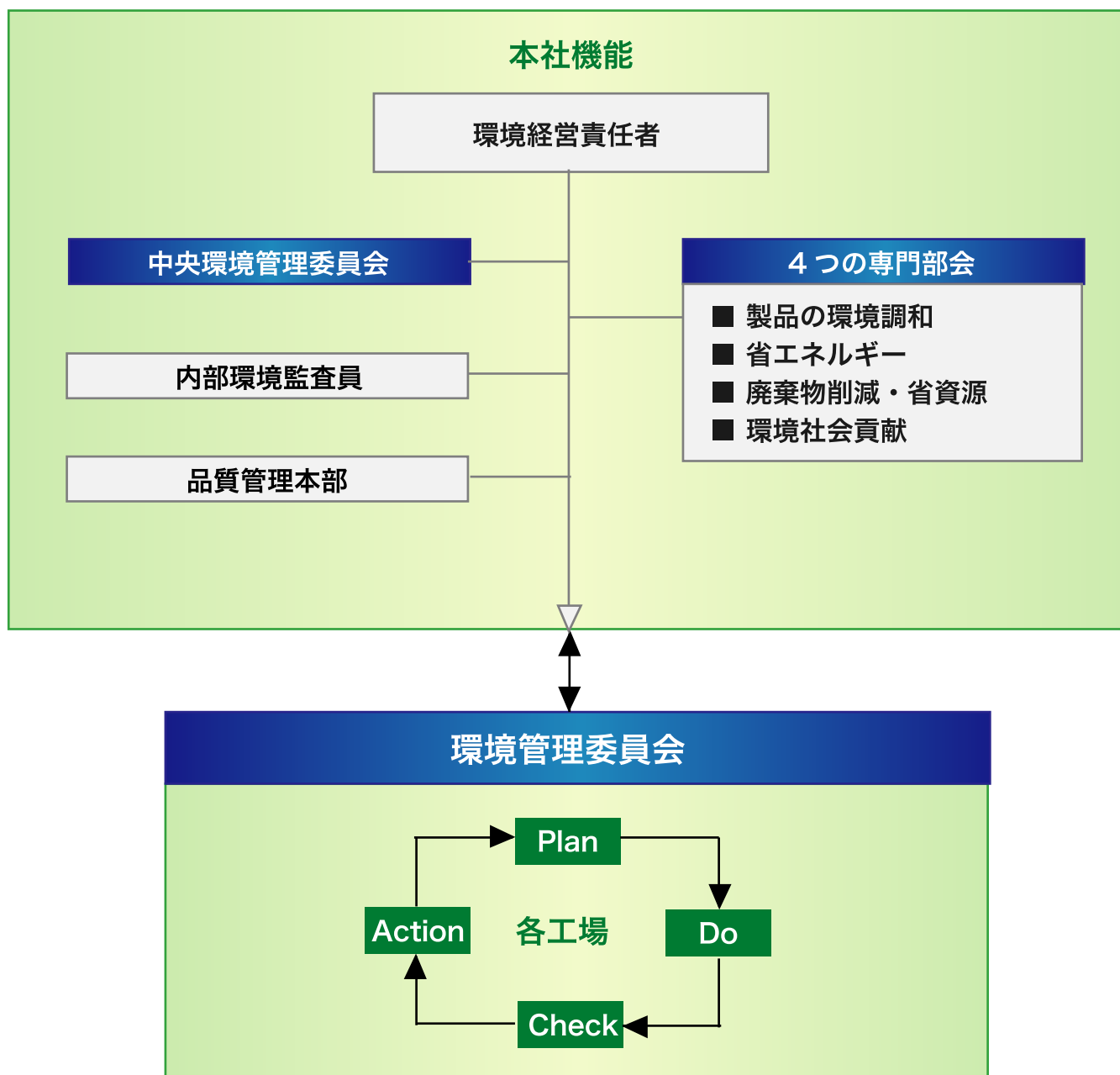


2010年10月1日

環境経営責任者
常務取締役
事業部長兼生産本部長
白井 康博

ニデック環境管理推進組織図

当社では、環境経営責任者の下に、中央環境管理委員会と4つの専門部会を設置しています。また、各工場に環境管理委員会を置き、工場毎に改善点を模索、PDCAサイクルをまわしています。工場毎の活動はを中央環境管理委員会に報告し共有することで、全社をあげた改善を続けています。



【会社概要】

名 称	株式会社ニデック
本 社	〒443-0038 愛知県蒲郡市拾石町前浜 34-14 TEL.0533-67-6611
代 表 者	代表取締役社長 小澤素生
設 立	1971年7月7日（創業日8月8日）
資 本 金	4億6189万円
売 上 高	340.5億円（2005年度） 359.0億円（2006年度） 374.7億円（2007年度） 333.5億円（2008年度） 299.2億円（2009年度）
従業員数	1,391名（2010年3月末日現在）



本社・拾石工場

【事業内容】



医療分野

高精度な眼科向け手術装置、レーザ機器、検査診断装置などの開発・製造・販売を総合的に行っています。近年では、活躍の場を健診分野にも広げています。



眼鏡機器分野

視力測定、レンズ測定、レンズ加工といったメガネづくりの全工程を支えているのは、ニデックの“確かな技術”です。省スペース化、作業の効率化を実現し、見える喜び、かける喜びを感じていただくお手伝いをしています。

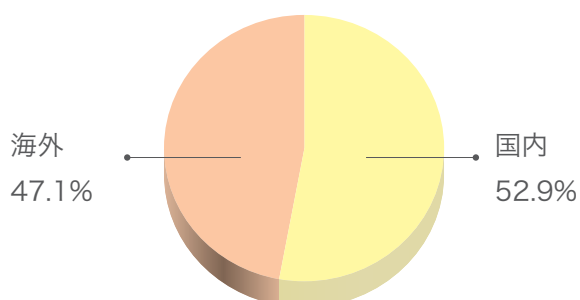


コーティング分野

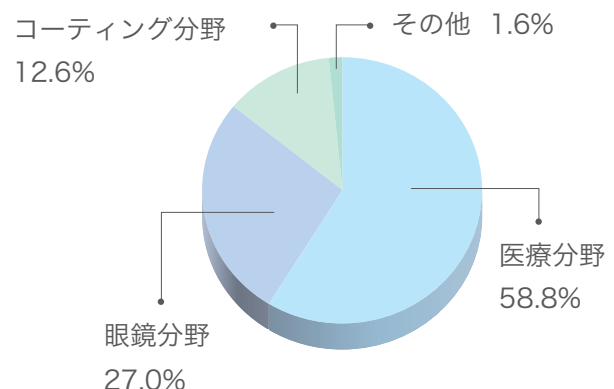
コーティングは、光学材料などへの反射防止や、特定波長だけを透過・反射させる“光を操る先端技術”です。メガネレンズをはじめ、情報通信・自動車・医療・宇宙工学など、多彩な分野で活用されています。

【2009年度データ】

■ 海外輸出比率



■ 売上構成比率



各工場概要

【本社(拾石工場)】



住所 〒443-0038 愛知県蒲郡市拾石町前浜 34-14
環境管理責任者 総務部担当部長 岩崎忠雄
敷地面積 11,648 ㎡
建物(延) 16,166 ㎡
従業員数 591名*

【東浜工場】



住所 〒443-0036 愛知県蒲郡市浜町73-1
環境管理責任者 コート事業企画室長 柴田芳宏
敷地面積 13,155 ㎡
建物(延) 8,992 ㎡
従業員数 95名

【浜町工場】



住所 〒443-0036 愛知県蒲郡市浜町67-4
環境管理責任者 医療/眼鏡機器製造部長 松本正和
敷地面積 22,200 ㎡
建物(延) 15,910 ㎡
従業員数 306名*

【大沢工場】



住所 〒443-0104 愛知県蒲郡市形原町大沢27-4
環境管理責任者 コート研究開発部長 川合得義
敷地面積 57,395 ㎡
建物(延) 11,032 ㎡
従業員数 113名*

【鶴ヶ浜工場】



住所 〒443-0036 愛知県蒲郡市浜町23-1
環境管理責任者 コート生産部長 大場徳雄
敷地面積 11,649 ㎡
建物(延) 5,441 ㎡
従業員数 107名*

* 従業員数は、派遣労働者を含む。

ニデックは、いつの時代も存在意義のある企業で在り続けるために、「Eye & Health Care」を核とした事業をグローバルに展開するとともに、国内外の法令及びその精神の遵守はもとより、高い倫理観と公平性をもって行動し、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

1. 人権の尊重

全ての人々の人権を尊重し、差別的な取扱いや個人の尊厳を損なう行為をしません。
また、児童労働や強制労働を認めません。

2. 透明性の高い企業活動の推進

様々なステークホルダーとのコミュニケーションを図るとともに、適宜適切に企業情報を提供し、透明性の高い企業活動を推進します。

3. 製品・サービスの品質・安全確保

人々が健康で快適な生活を送るために、新しい価値の創出に努めるとともに、安全で高品質の製品・サービスを提供し、お客様の満足と信頼が得られるよう努力します。

4. 環境問題への積極的な取り組み

地球及び地域環境保全の重要性を認識し、循環型社会形成に寄与する改善活動を継続的に行います。

5. 社会との調和

良き企業市民として積極的に社会貢献活動の推進に努め、地域社会との調和を図ります。
また、海外においてはその文化や慣習を尊重し、地域の発展に貢献します。

6. 健全で快適な職場環境の実現

職場における社員の安全と健康を確保し、社員の経済的・精神的・時間的なゆとりと豊かさの実現に向け、働きやすい職場を形成します。

経営トップは、この企業行動憲章の精神を実現することが自らの役割であることを認識し、率先垂範の上、社内に周知徹底します。万一この企業行動憲章に違反する事案が発生した場合は、経営トップ自らが問題解決にあたる姿勢を明らかにし、原因究明、再発防止に努めます。

2007年4月1日

株式会社ニデック
代表取締役

小澤 秀雄

当社は、Eye & Health Careの担い手として医療機器等の製造、販売及び、サービス活動を展開している。企業の社会的責任と地球及び地域環境保全の重要性を認識し、循環型社会形成に寄与する改善活動を継続的に行なうものとする。

1. 事業活動に伴う環境側面が環境に与える影響を的確に捉え、環境目的、及び目標を定め、全社員で取組み、環境負荷の低減及び地球温暖化防止を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
環境目的、及び目標は定期的に見直し、必要に応じ改定する。
2. 環境に係わる法律、規制、条例を順守し、利害関係者の意見を尊重する。
3. 事業活動、製品の製造、及びサービスが環境に与える影響を考慮し、特に次の事項について重点的に環境保全活動を推進する。
 - (1) 製品の環境調和
主力製品から、指定有害物質の排除を促進するとともに、グリーン調達を推進する。
 - (2) 省エネルギー
エネルギー消費の少ない製品設計、及び生産プロセスの導入等により省エネルギーを推進する。
 - (3) 廃棄物削減・省資源
資源の有効利用を図るとともに、本来の「ゼロエミッション」を推進して廃棄物等の総排出量の削減も図る。
 - (4) 環境社会貢献
CSRの観点から、環境情報の公開と、地域・社会とのコミュニケーションを通じて、環境保全に貢献する。
4. 環境教育、社内広報活動等により全社員の環境方針の理解及び環境保全に対する意識の向上を図る。また、関連会社に対し理解と協力を求める。

この環境方針は、社外からの要求に応じ公開する。

2010年8月23日
株式会社ニデック
環境経営責任者
白井 康博

第10版

2010年度環境保全活動の目的・目標と設定趣旨

当社は、ISO14001を取得しており、事業活動全体において、継続的な環境保全活動を展開しています。環境調和型製品の開発、製造、販売に努めるとともに、省エネルギー、廃棄物削減による環境汚染の防止や資源の節約、循環資源化の促進などに力を入れ、その成果は確実に現れてきています。また近年は、環境貢献、社会貢献活動にも力を入れています。

	2010年度の目的	2010年度の目標
製品の環境調和	▶ 環境法規制レビュー、必要な措置の実施 ▶ エコ設計(環境配慮設計)の推進	▶ 環境法規制レビュー、必要な措置の実施 ▶ エコ設計(環境配慮設計)の調査
省エネルギー	▶ 原単位電力消費量削減 (2012年度までに、 2009年度比、3%削減)	▶ 売上比原単位電力消費量削減 (2009年度比、1%削減)
廃棄物削減・省資源	▶ 廃棄物総排出量削減 (2012年度までに、 2009年度比、10%削減)	▶ 各サイト設定単位廃棄物排出量削減 (2009年度比、4%削減)
環境社会貢献	▶ ステークホルダーに影響を与える社会貢献活動の検討 ▶ 環境報告書の充実と継続 ▶ 社員への啓蒙	▶ 社会貢献活動の研究と提案 ▶ 環境報告書の項目精査後、 データ更新・公開

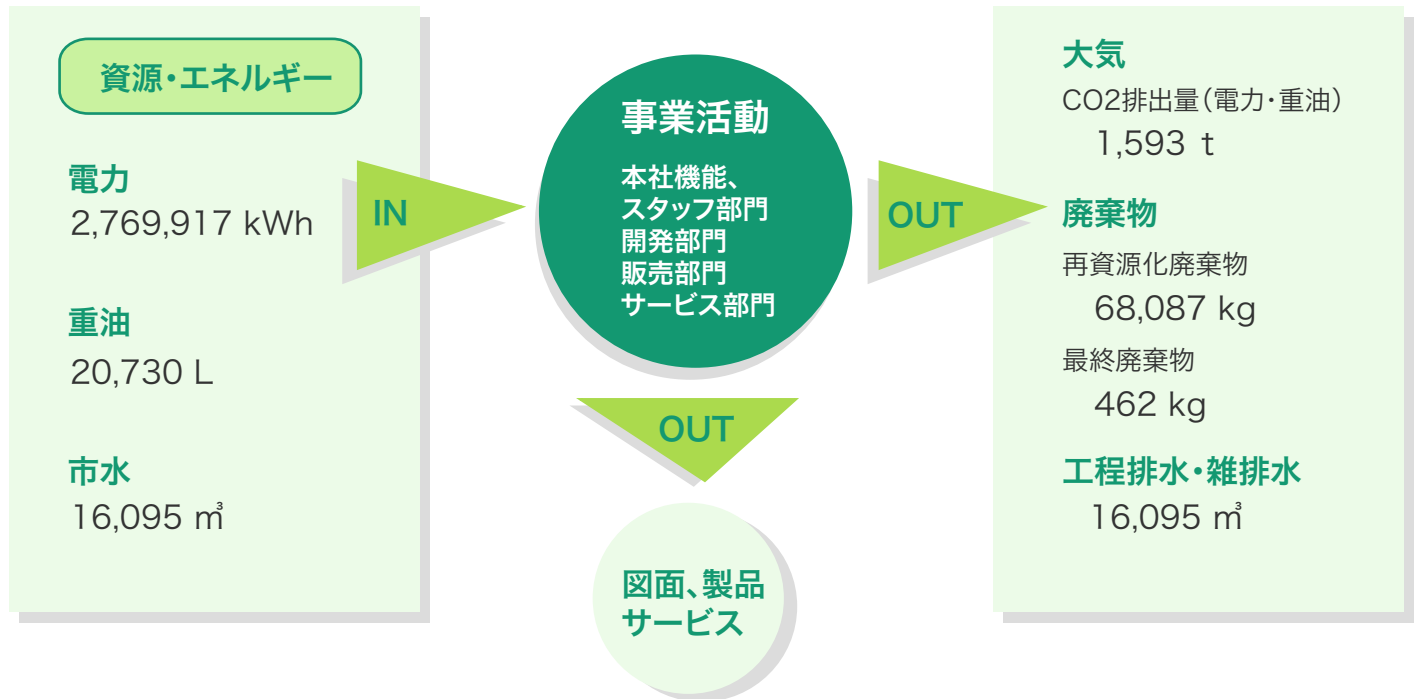
2009年度環境保全活動の目標と実績

2009年度の目標と、活動の実績です。

	2009年度の目標	活動実績
製品の環境調和	▶ 環境法規制レビュー、必要な措置の実施	▶ 医療・眼鏡製品に関して、フマル酸ジメチルのEU禁止指令を受け、当該物質の非含有保証書を発行 ▶ コート製品に関して、取引先からの要望に対し、REACH規制、RoHS規制への適合データを提供 ▶ 新電池指令への対応
省エネルギー	▶ 各サイト設定原単位電力消費量削減（2009年度までに、2005年度比、4%削減）	▶ 各工場の達成度から最終的に全社で113.4%の達成度となり目標を達成 ▶ エコプロモニターによりデマンド電力管理の推進及び各工場工夫した省エネ対策を推進。 ▶ 削減電力：385,467 kwh * ▶ CO2削減：213.9 t * *2009年度実績
廃棄物削減・省資源	▶ 廃棄物の再資源化促進 累計再資源化率99%以上 ▶ 月別再資源化率99%以上を10ヶ月以上達成	▶ 年間を通じて99%以上を確保（2009年度の再資源化率: 99.5%） ▶ 工場ごとの再資源化率 ・ 拾石工場：99.3% ・ 浜町工場：99.3% ・ 鶴ヶ浜工場：99.7% ・ 東浜工場：99.6% ・ 大沢工場：99.4%
環境社会貢献	▶ 環境社会報告書の作成とCSRレポートの研究 ▶ 社会貢献活動のテーマの選定と実施	▶ 11月29日、健康ウォーク（105名参加）で50 kgのゴミを回収 ▶ エコキャップ 78,566個（ワクチン98名分）、東京事務所も開始 ▶ 2009年11月よりコピー＆プリンター用紙購入実績削減立木換算 ▶ 2010年1月より「私の提案」に“環境社会貢献”分類を追加

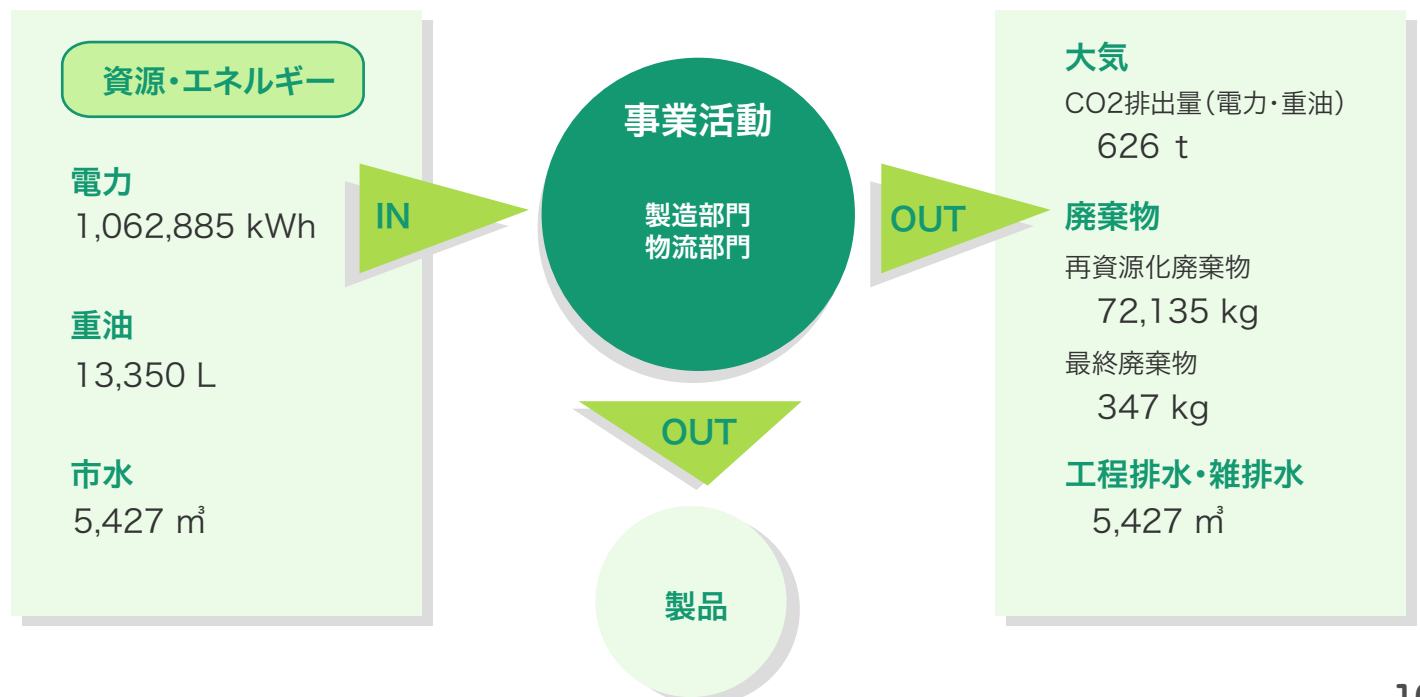
[本社(拾石工場)]

会社運営における本社機能を中心に、主にスタッフ部門、開発部門、一部の製造部門、営業部門、サービス部門が業務を展開しています。



[浜町工場]

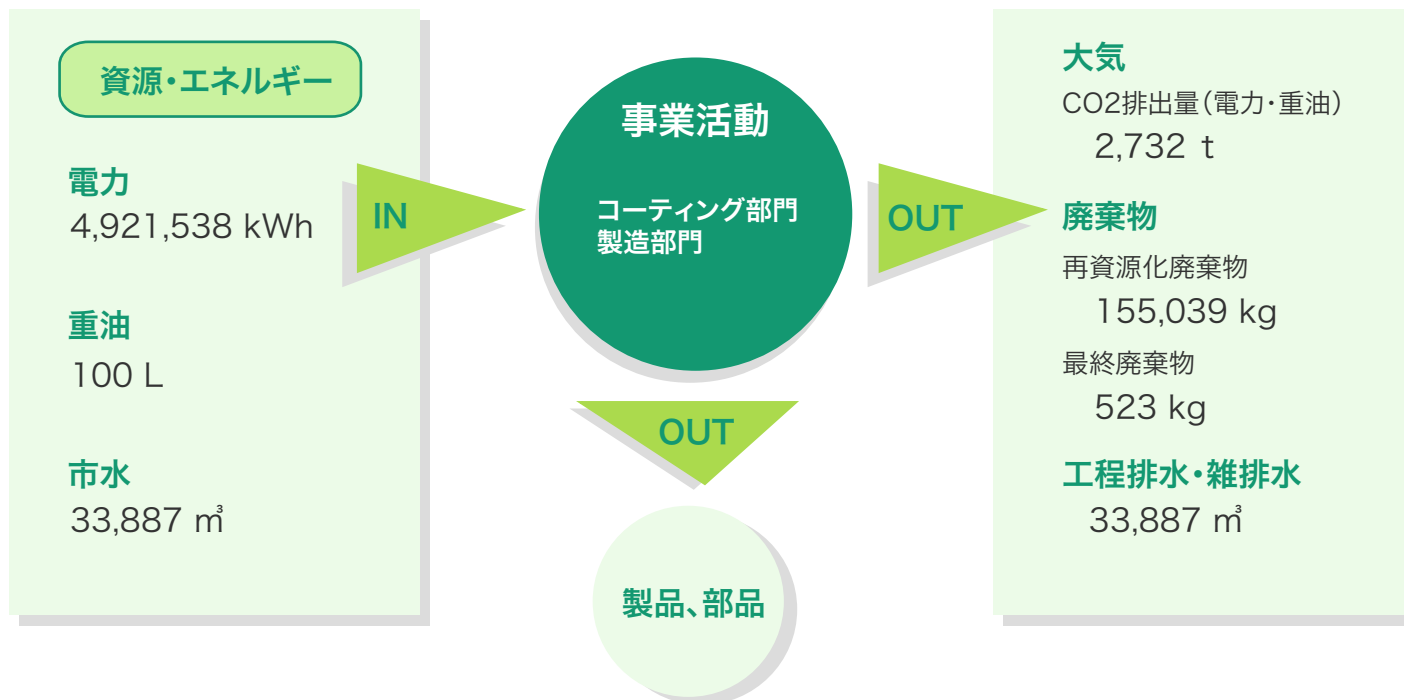
製品の部品購入、組立、部品や製品の検査、および物流の専門工場です。太陽光発電設備を備えています。



工場の環境負荷概要 鶴ヶ浜工場／東浜工場

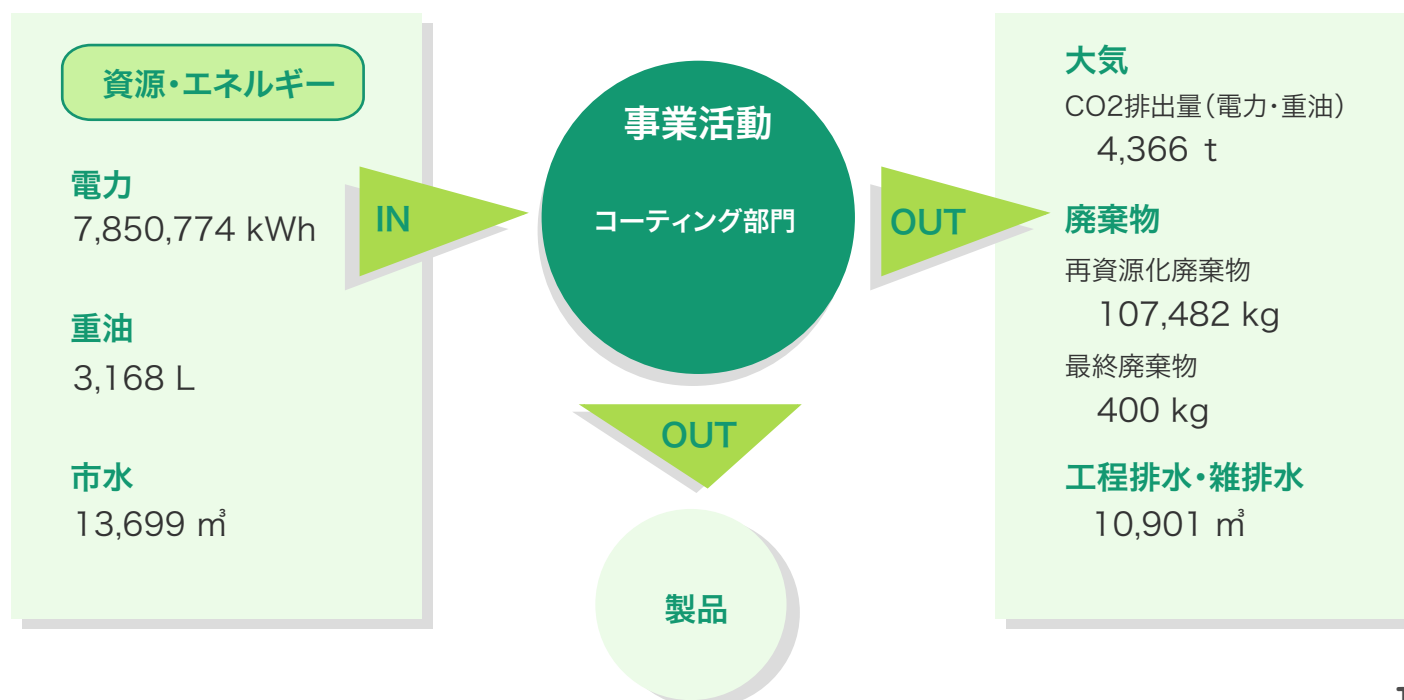
【鶴ヶ浜工場】

光学部品など、製品内で使用する部品の製造や、眼鏡レンズへのコーティングを行う工場です。



【東浜工場】

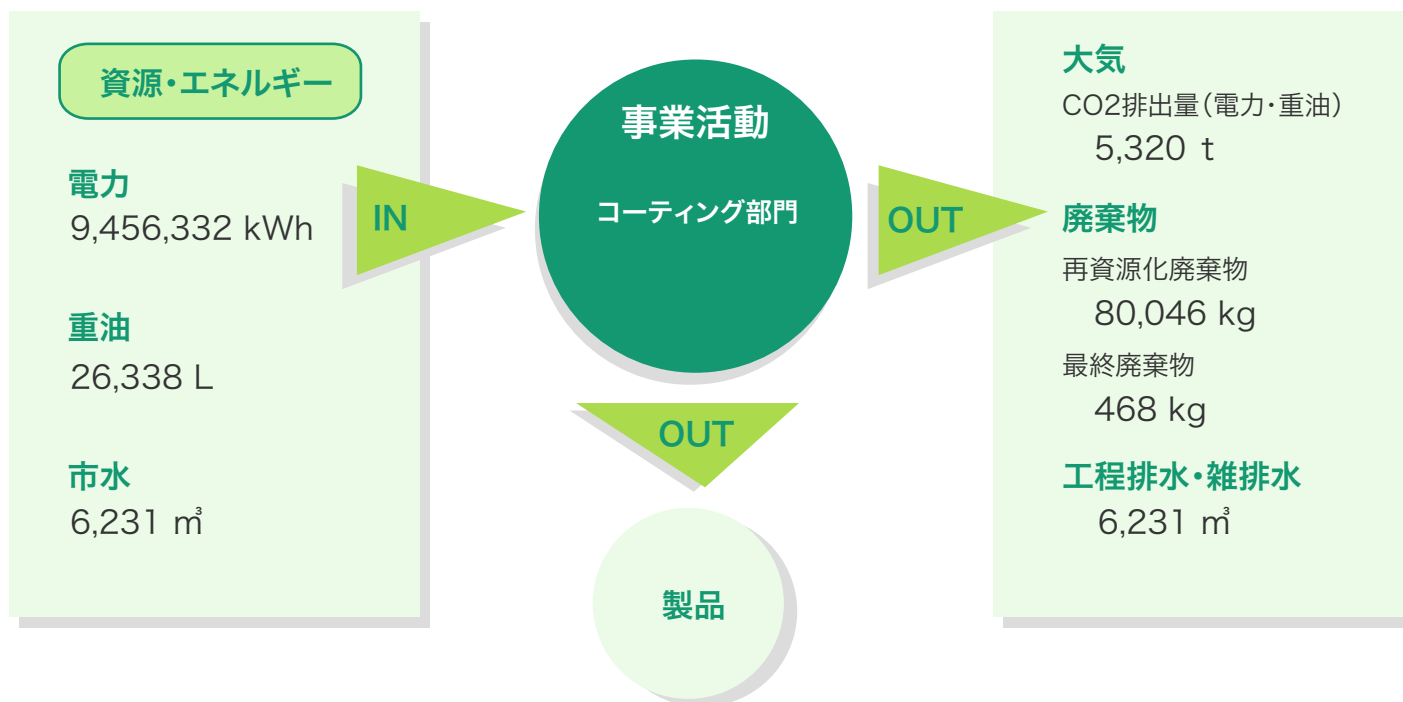
光学フィルターなどのコーティング工場として操業しています。



工場の環境負荷概要 大沢工場

[大沢工場]

光学部品など、製品内で使用する部品の製造や、眼鏡レンズへのコーティングを行う工場です。



商品センター(浜町工場敷地内)



組み立て現場(浜町工場)



クリーンルーム(拾石工場)

2009年度環境パフォーマンス CO2排出量(電力及び燃料)

[使用資源・エネルギー別の排出量]

各資源/エネルギーの使用量をCO2に換算した場合、電力によるCO2排出が大半であることが読み取れます。このことから、当社では、日頃から電力の節約に全社的に力をいれています。



電力

14,464.1 t
(全体の98.7%)



A重油

172.6 t
(全体の1.2%)



ガソリン

17.7 t
(全体の0.1%)



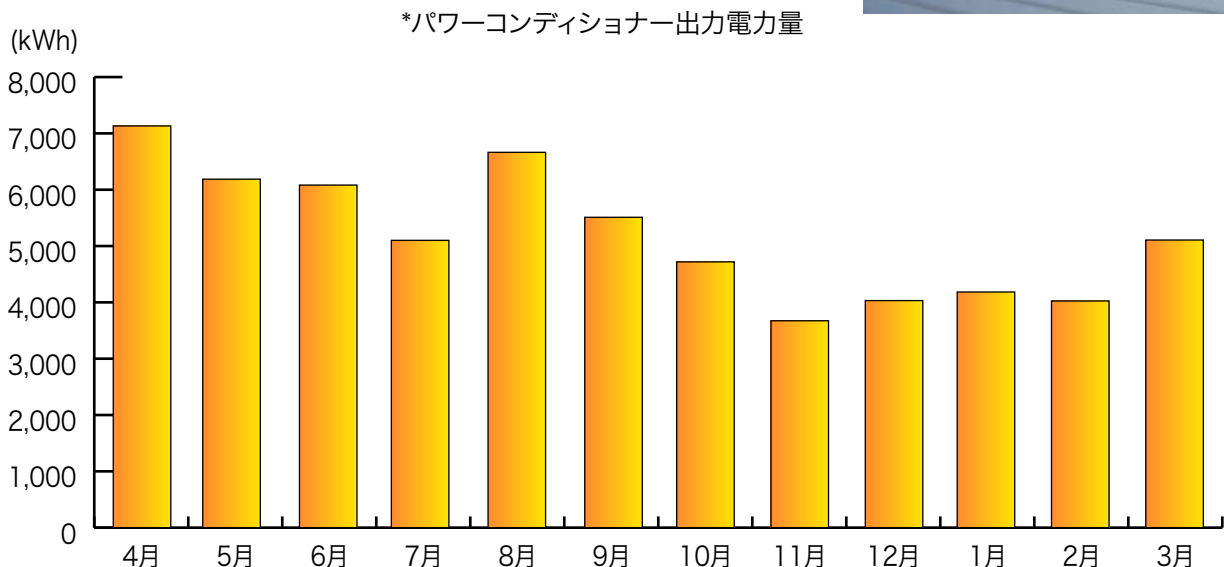
軽油

4.8 t
(全体の0.0%)

総計 14,659.2 t
前年比 94.0%

参考： 浜町工場太陽光発電量実績

当社は、燃料を使用したCO2の排出量を削減するため、2008年3月から、浜町工場の屋上に太陽光発電システムを導入しました。太陽光発電による電力は、浜町工場の電力の一部として利用しています。2009年度の月別の発電量(*)実績をご紹介します。日照量に応じて変動はありますが、年間平均として、約5,200 kWhの電力を発電しています。

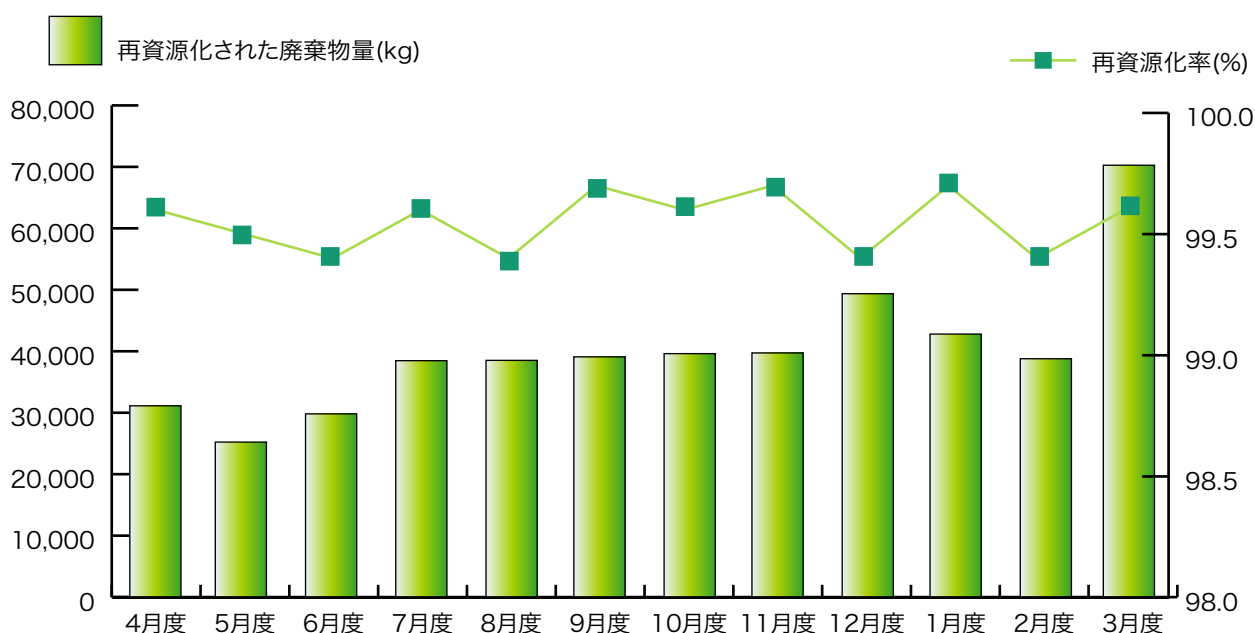


2009年度環境パフォーマンス 廃棄物量／PRTR法対象化学物質使用量

【廃棄物量／再資源化率の月別推移】

当社は、廃棄物のゼロエミッション達成に向け、最終廃棄物の内容分析をし、再資源化率の向上を目指して全社的に活動を展開してきました。2009年度は、99%以上再資源化を10ヶ月以上達成するという年間目標を達成することができました。

	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度	合計
有価/再資源	31,125	25,223	29,811	38,469	38,519	39,089	39,614	39,727	49,364	42,797	38,784	70,268	482,788
最終廃棄	126	115	181	172	235	136	159	121	287	143	226	300	2,201
合計	31,251	25,338	29,991	38,641	38,754	39,225	39,772	39,848	49,651	42,939	39,010	70,568	484,988
再資源化率	99.6%	99.5%	99.4%	99.6%	99.4%	99.7%	99.6%	99.7%	99.4%	99.7%	99.4%	99.6%	99.5%



【特別管理産業廃棄物量】

特別管理産業廃棄物は1事業所にて年間50 t以上排出すると、多量排出事業所として行政への報告が必要になります。鶴ヶ浜工場は2008年度は50 tを越えましたが、毎月の排出量チェックと削減努力により、2009年度は、48 tに減らすことができました。

	拾石工場	浜町工場	鶴ヶ浜工場	東浜工場	大沢工場	計	対前年比
廃棄物 (kg)	11,079	361	47,648	8,174	0	67,262	68.3%

*数値に誤植があったことが判明し、2010年10月6日に訂正しました。

【PRTR法対象科学物質使用量】

PRTR法(*)に基づく第一種指定科学物質の2009年度の使用量について、経済産業省への届出対象となる鶴ヶ浜工場の使用量です。

▶ 鶴ヶ浜工場

- ① HCFC-225: 1,800 kg
- ② 2-アミノエタノール: 1,500 kg

*特定科学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律

環境調和型製品紹介

当社は近年、環境に配慮した製品の開発に努めています。EU規制 (RoHS、WEEE) への適応、および中国版RoHSへの適応を推進しています。2009年度に販売している環境調和型製品や、環境調和に向けて改良を進めている製品をご紹介します。(全て2010年9月現在も販売しています。)

[EU規制 (RoHSおよびWEEE) 適応製品]

以下の製品は、専門のプロジェクトチームで環境に調和した製品開発に取り組み、グリーン調達を行うなどした結果、EU規制 (RoHSおよびWEEE) への適応が達成できました。

遠心分離型濾過装置 Lfu 220



眼鏡レンズ加工機の排水をろ過する装置です。

独自の最新技術でレンズ加工時に排出される加工のカスと水を遠心分離するハイブリッドシステムにより、快適な使い勝手と、使用水量の削減、コンパクト設計を実現しています。

フランスで開催された眼鏡の国際展示会Silmoにて、特別賞を受賞しています。地球に優しく、利便性も高いことから、ユーザーからも高く評価されています。

パターンレスエッジャー Lex 1000



オートレンズメーター LM-600P



システムチャート SC-2000



製品の環境調和専門部会からのメッセージ

環境調和型製品の創出においては、製品のライフサイクル(製品の材料調達、製造、輸送、使用、廃棄にいたる一連の工程)全体から環境負荷を把握し、さまざまな角度からの改善を進めています。

環境関連法規制への適応はもちろんのこと、環境負荷低減には「製品アセスメント実施規定」を基に、企画・設計段階から負荷低減を考えた活動が重要と位置づけ、開発部門や製造部門と当専門部会が連携し、積極的な改善に取り組んでいます。

具体的には、再資源化が容易な製品材料の選択、部品点数やネジ数の減少、包装資材の少資源化、製品廃棄時における廃棄手順書の提供などです。

今後も環境調和型製品の開発を推進し継続することにより、地球環境の負荷低減に努めていきます。

製品の環境調和専門部会
部会長 嶋崎 寛 (品質保証部 部長)

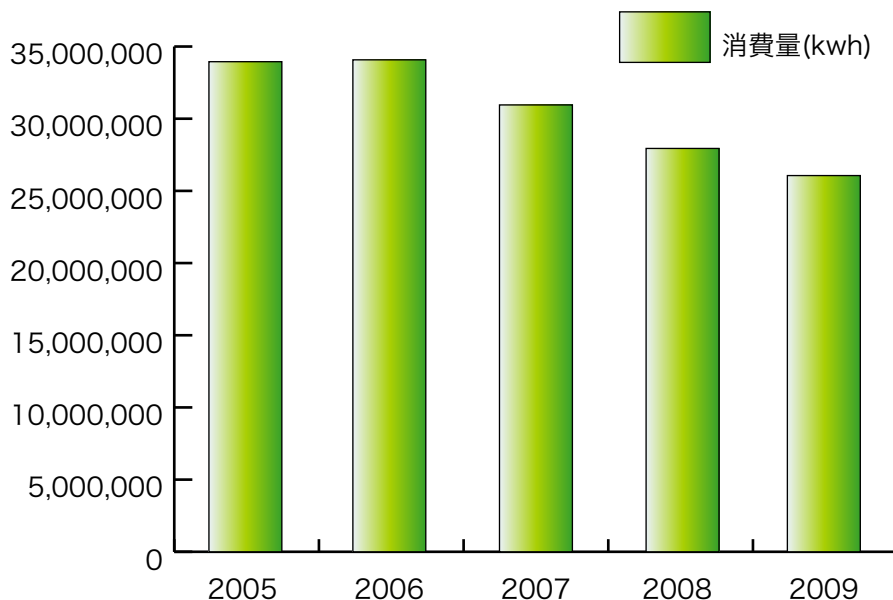
エネルギー／資源消費量・廃棄物排出量の推移

電力／重油

[電力消費量]

電力消費量は、2007以降、着実に削減されています。各工場における継続的な省エネ活動の成果が現れ、2008年度には、浜町工場に第二棟を増設したにも関わらず、2009年の電力量は前年より減少しています。

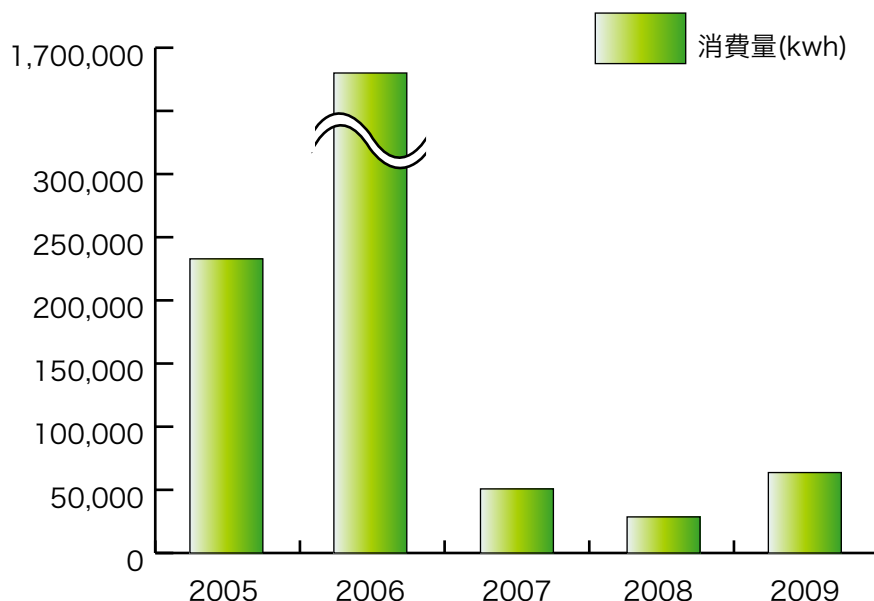
年度	消費量 (kwh)
2005	33,949,328
2006	34,077,863
2007	30,953,822
2008	27,940,659
2009	26,061,446



[重油消費量]

2006年度に、暖房用のボイラーから効率の高いヒートポンプ式エアコンに切り替えるとともに、自家発電機の運転を常用運転から、ピンポイント運転に切り替えたことにより、2007年度以降、に重油消費量は大きく削減され、多少の増減は見られるものの、低い水準を維持しています。

年度	消費量 (kwh)
2005	232,874
2006	1,666,042
2007	50,747
2008	28,571
2009	63,686



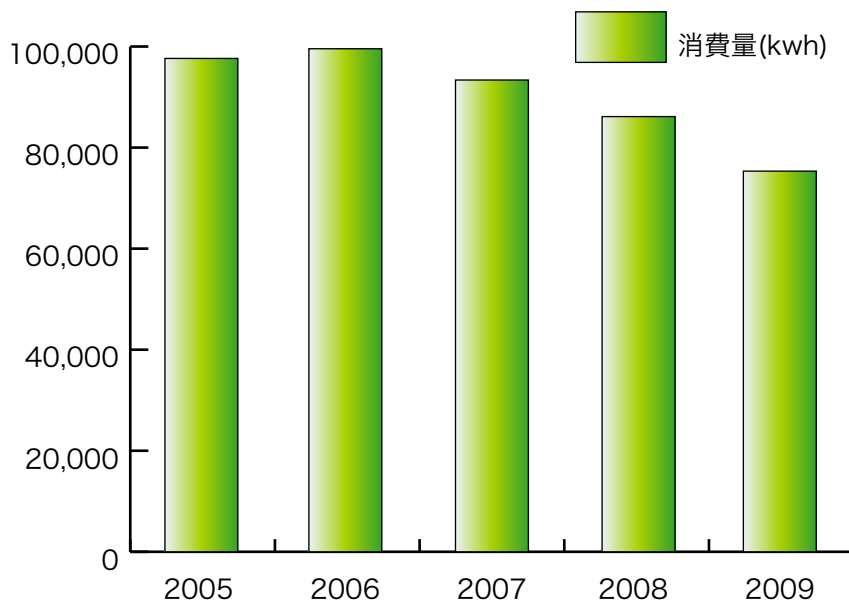
エネルギー／資源消費量・廃棄物排出量の推移

市水／最終廃棄物

【市水消費量】

コート事業の工場における洗浄過程での効率性向上による節水の成果が、毎年、着実に現れています。

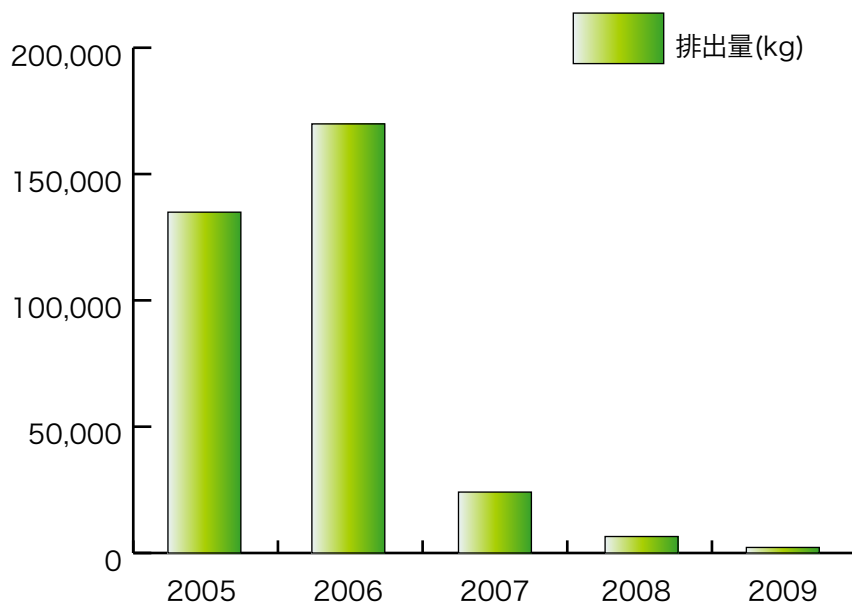
年度	消費量 (kwh)
2005	97,644
2006	99,560
2007	93,370
2008	86,134
2009	75,339



【最終廃棄物排出量】

2006～2008年の3ヵ年計画で「ゼロエミッション」達成を目標に掲げ、全社を挙げて廃棄物の削減や再資源化の努力を続けた結果、排出量の大きく削減に成功し、2009年度には再資源化率を毎月、99%以上にすることができました。

年度	排出量 (kg)
2005	134,914
2006	169,852
2007	24,119
2008	6,529
2009	2,201



環境／社会への取り組み

当社では、企業行動憲章(6ページ)に基づき、地域の美化活動や桜の植樹などをはじめとした積極的な環境貢献、またさまざまな角度からの社会貢献活動の展開を図っています。2009年度に、当社が実施した取り組みの一部をご紹介します。

[エコキャップ運動の推進]

当社では、2009年3月からペットボトルのキャップを集めてワクチンを贈る「エコキャップ運動」に取り組んでいます。集めたキャップは800個で20円となり、これで発展途上国の子供たちにポリオワクチンを1人分贈ることができます。

2009年度の1年間で、100,566個を収集しました。これはワクチン125人分にあたります。



[マッチングギフトによる日本点字図書館への寄附]

従業員の寄附活動を支援する「マッチングギフト*」を取り入れ、日本点字図書館へ寄附を行いました。今回の寄附金は主に、点訳図書作成のために使用されました。

[作成された図書]

『宮本武蔵 ―「兵法の道」を生きる― 全5巻』
(魚住孝至 著、岩波書店)

*マッチングギフト:従業員が社会・環境団体に寄附をする際、企業がそれと同額の寄附を追加して従業員の社会貢献活動を支援するものです。



[市内小学校で目の健康についての講演会を実施]

当社の本社がある蒲郡市内の複数の小学校で、目について楽しく学べる講演会をおこないました。

当社のWebサイトでご紹介している「目のおはなし」を基にいくつかをご紹介しながら、児童の皆さんに「利き目」を調べるなどの体験を通じて、目に関する理解を深めてもらいました。



[報告書基本情報]

作成部署： 環境社会貢献部会 / 企画部
報告対象組織： 株式会社ニデック
拾石工場(本社)
浜町工場(研究棟除く)
鶴ヶ浜工場
東浜工場
大沢工場
報告対象期間： 2009年4月1日 ～ 2010年3月31日
発行日： 2010年10月1日

[お問い合わせ先]

企画部 広報課
電話 0533-67-6753 / FAX 0533-67-6610
E-mail info@nidek.co.jp

※ 当社に関する詳しい情報は、Webサイトをご参照ください。
URL: <http://www.nidek.co.jp>

